

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	なごなるの家 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2025年1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境整備を常に意識し、安全に過ごすことができている。	危険個所の事前整備や物品の整理整頓などを実施している。	建物の構造上、死角が多いので、目の届かない時は、声を掛け合うなど工夫していく。
2	活動前の打ち合わせ、活動後の振り返りが適切に行えている。	朝と夕方の2回、毎日ミーティングを行っている。	時間の合わないスタッフもいるので、個人の記録やミーティングノート等を活用しながら共有していく。
3	事前に得た服薬状況やアレルギー等の情報を共有できている。	個人ファイルを整理し、変更があれば口頭もしくはミーティングノートでの共有を行っている。	変更が共有されていない時のあるので、共有状況を把握し、全体の理解に努める。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムが固定しがちである。	準備時間がとれず、すぐに活動に移れるプログラムになりがち。	書籍や動画等も活用しながら、立案しやすく、準備も容易なプログラム案を増やす。
2	PDCAサイクルへの参画が十分とは言えない。	計画に対する振り返りが十分できていない時がある。	日々の打ち合わせ時に盛り込んでいく。
3	地域との交流が少ない。	外出の機会が少ない。	散歩や地域でのイベント参加など、外出の機会を増やす。